

令和4年度事業報告書

令和 4年 4月 1日から

令和 5年 3月31日まで

公益財団法人 日本海事広報協会

I 公益目的事業

海事思想普及事業

1 「海の日」 広報

「海の日」の意義が国民各層に深く理解され定着するよう、また、7月の「海の月間」事業についても多面的かつ広範囲に広報活動を行った。また、「海の日」にあたり、岸田文雄内閣総理大臣のメッセージが発表され、当協会ホームページ等で披露した。

(1) 「海の日」・「海の月間」関連事業

① 「海の日」・「海の月間」広報

「海の月間」（7月1日～31日）を推進するため、海事関係団体等に対する事業展開への協力要請、関連行事のとりまとめ、告知等を行った。また、「海の日」（令和4年は7月18日）を中心に、「海の月間」には、コロナ禍で制限のある中で幅広い分野の連携のもとで、全国各地で多様な海のイベントを行った。

ア. 記念行事等の告知

全国11地方海事広報協会の協力のもと、コロナ禍の影響が残る中、「海の日」・「海の月間」行事が行われる当該地域で行事予定表を制作し、関係各所に配布した。当協会は、開催される全国の関連行事をホームページで紹介する等機会を捉えて告知活動を行った。

イ. 記念行事等の実施

全国11地方海事広報協会と関係機関等との協力のもと、「海の月間」に、コロナ禍の影響が残る中、実施可能な地域において関連行事を実施した。

ウ. 2022夏「海の日」クイズキャンペーンの実施

「海の日」の趣旨を周知するとともに、海運等海事産業が国民の生活を支えていることを分かりやすく啓発するため、当協会のホームページに特設サイトを設け、各メディアを活用したクイズキャンペーンを展開した。

「海の日」に先立ち、7月14日付け読売KODOMO新聞に、「海の日」の周知と自由研究の特集ページ内に「日本の誇りを世界へ！自動車船」の記事並びに同クイズキャンペーンを掲載。クイズ期間中のウェブ特別サイトへのページビューは、約12万6千、クイズ応募者数は2,808件にのぼった。

〈実施内容〉

7月14日（木）付け 読売KODOMO新聞「日本の誇りを世界へ！自動車船」掲載

（カラー、タブロイド判、発行部数：約20万部）

7月14日（木）～8月31日（水） クイズキャンペーン（テーマ：自動車船）（資料 1）

【以上、日本海事センター等補助事業】

② 「海の日」・「海の月間」関連行事

「海の日」の旗掲揚推進運動、「ビーチウォーク&クリーンアップ大作戦」等

「海の日」に国旗掲揚と併せて、「海の日」の旗の掲揚を奨励するための運動を実施。

「海の日」の意義について、一般国民の理解と関心を深めるため、全国11地方海事広報協会、地方自

治体等の協力を得て、全国各地のボランティアに対し、「海の日」を中心に全国の海岸における一斉海浜清掃活動への参加を呼びかけた。コロナ禍の影響により運動自体の中止が多く出たが、全国21道府県、28ヶ所の海岸で7,971人のボランティアにより、約28.04トンのゴミを回収した。（資料2）

【自主事業】

（2）国民の祝日「海の日」海事関係団体連絡会の運営等

国民の祝日「海の日」の意義が国民各層へ定着するよう、海事関係28団体で構成される「国民の祝日「海の日」海事関係団体連絡会」の事務局として、次の事業を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年「海の日」海事関係功労者祝賀会は中止とし、海事関係功労者への記念品贈呈に変更した。

「海の日」広報

ア. 「海の日」周知広報

◎2022年「海の日」ポスター

2022年「海の日」ポスターコンクールで選出された図案のポスターを22,800枚（B1判7,000枚、B2判4,800枚、A2判11,000枚）制作するとともに「海の日」ポスターデータを制作し、全国各地の関係行政機関、公共施設等に配布して、その掲示を依頼したほか、報道関係等に対して「海の日」のパブリティを行った。

◎2023年「海の日」ポスターコンクール

2023年「海の日」ポスターコンクールを開催し、作品を募集した。大賞ほか各賞は令和5年3月31日（金）に当協会ホームページほかで発表した。

【募集期間】令和4年7月20日（水）～12月5日（月）

【応募総数】1,398点（84団体、1,162点含む）

【一次審査】令和5年1月17日（火）

【最終審査】令和5年3月3日（金）

【審査員】最終審査員

箭内道彦（クリエイティブディレクター、東京藝術大学学長特命・美術学部デザイン科教授）／中村庸夫（海洋写真家）／中村麻美（画家・挿画家）／武藤光一（日本海事広報協会会長）

一次審査員

滝沢美恵子（画家）／中村武弘（海洋写真家）／毬月絵美（画家、イラストレーター）

【賞】《大賞》川上心優（かわかみ みゆ）兵庫県立姫路工業高等学校1年

《優秀賞》佐藤麻奈（さとう まな）新潟デザイン専門学校デジタルデザイン科3年
EWOKAITEMITA（ペンネーム）東京都 会社員

《佳作》武中梓（たけなか あずさ）高知県 会社員

長野健司（ながの けんじ）神奈川県 自営業

市原紗希（いちはら さき）九州産業大学付属九州高等学校2年

《奨励賞》佐藤恵麻（さとう えま）九州産業大学付属九州高等学校2年

《学校・団体奨励賞》神奈川県立希望ヶ丘高等学校

九州産業大学付属九州高等学校（福岡県）

【後援】国土交通省、総務省、文部科学省、海上保安庁、水産庁、観光庁

また、7月19日（火）から8月1日（月）まで、2022年「海の日」ポスターコンクール入賞作品の展示を国土交通省（東京都千代田区）1階ロビーで行ったほか、11地方海事広報協会に委託し、入賞作品展を実施した。（資料3）

◎「海の日」グッズの制作・配布

港の役割、船の種類を紹介する「海の日」下敷き（15,000枚）やノート（10,000部）、紙製ファイル（10,000枚）、紙製うちわ（10,000枚）、エコバッグ（10,000枚）等の「海の日」グッズを制作し、海事関係イベント等で配布する等さまざまな「海の日」広報を行った。

イ. 「海の日」関係イベントへの協力等

7月17日（日）から7月18日（月、祝）まで、（公社）北陸信越海事広報協会との共催で、諫訪湖（長野県）において旅客船「すわん」及び「スワンコスター・マイン号」にて、一般募集の小学生及び保護者等を招待し、少年少女「海の日」記念親子体験乗船会を実施した。乗船会実施にあたっては、1回の乗船人員を少なくするなど各種新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じ、2日間で637名（小学生355名、大人282名）が参加した。

また、SGオーシャンカップ競走（7月23日（土））及び第24回ジャパンインターナショナルシーフードショー（8月24日（水）～26日（金））に協賛した。

ウ. イメージキャラクターによる啓発（ミス日本「海の日」）

2022ミス日本「海の日」の属 安紀奈（さつか あきな）さんをアシスタントとして起用し、当協会ホームページやTwitterなどで「海の日」と海、海運等の海事産業の大切さを周知した。

また、令和5年1月23日（月）に開催されたミス日本コンテストに協賛して2023ミス日本「海の日」に稻川夏希（いながわ なつき）さんを選出した。

エ. 国民の祝日「海の日」海事関係団体連絡会会議

令和4年5月11日（水）、同年11月4日（金）、令和5年3月13日（月）に海運クラブにて国民の祝日「海の日」海事関係団体連絡会会議を開催した。

【以上、関係団体分担金事業】

2 海事知識啓発

広く一般に対し、海運、造船、港湾等の海事産業と、海洋や海洋環境保全等への関心を深め、その知識の啓発、向上を図るよう、各種行事・広報事業を実施した。

(1) 海事知識普及**① 船との出会い総合事業****ア. 乗船体験・海事産業関連施設の見学会**

全国11地方海事広報協会へ委託し、全国各地において、新型コロナウイルス感染予防対策を講じて乗船体験会や造船所・港湾施設等の見学会、海事産業等をテーマにした出前授業を実施した。コロナウイルスの影響で中止になった計画も出たが、令和4年度の実施回数は115回、参加者数は6,583名（資料4）にのぼった（令和3年度は81回、3,911名）。

イ. 豊島区8中学校合同宿泊行事「横滨海の学習」

海事都市横浜を学習の場に、港・船舶の役割、開港の歴史を通じた日本における海事・海洋部の重要性を学ぶ海洋学習と企画を豊島区立中学校8校と共同で1年生（888名）を対象に実施した。

ウ. 第10回「ジュニア・シッピング・ジャーナリスト賞」

海運、船などの海事産業に対する意識向上を図り、将来、海事産業の従事者を目指す人材の育成に資することを目的に、小学生、中学生、高校生を対象として、海事産業に関わる調査・取材を行い、新聞形式にまとめた作品を6月から11月にかけて国土交通省、文部科学省等の後援も受け募集した。応募のあった1,266作品を対象に、令和4年12月～令和5年1月にかけて、3回の審査会を実施し、国土交通大臣賞をはじめとする各賞を決定した。国土交通大臣賞受賞者に対し、令和5年3月に表彰式を実施した。入賞者は、（資料5）のとおり。

また、入賞作品を通じた海事知識の啓発と応募促進を図るために、以下のとおり2021年度入賞作品展を実施した。

〈2021年度JSJ入賞作品展〉

4月1日（木）～14日（木）	国土交通省エントランス
7月26日（火）～9月25日（日）	東京臨海部広報展示室TOKYOミナトリエ
8月1日（月）～12日（金）	旧門司税関2階ギャラリー
8月16日（火）～25日（木）	下関市役所1階ホール
10月15日（土）～10月16日（日）	今治港開港100周年イベント
11月5日（土）～11月6日（日）	徳山下松港開港100周年イベント

エ. 「ぼくとわたしのシップガイド」改訂・印刷

児童用海事産業広報パンフレット、「ぼくとわたしのシップガイド」を改訂し、17,000部印刷。地方海事広報協会をはじめとする関係団体・会社へ配布し、出前授業や海事施設見学会時に活用した。

オ. 「海の学校」ウェブサイトの制作・公開

東京海洋大学、神戸大学、海技教育機構等、船員養成等を行っている教育機関を紹介するサイトを公開。海技教育財団が制作した「バーチャル学校見学サイト」も併せて掲載した。

② 海洋教育普及事業

ア. 「海の仕事へのパスポート」（小・中学生向け海洋キャリア教育）

キャリア教育がはじまる小・中学生を対象に、海に関わる職業や教育機関を伝えることを目的とする海洋キャリア教育セミナーを以下のとおり実施した。

令和4年5月12日（木） 東京都豊島区立千登世橋中学校2年生122名 船長講話等

5月13日（金） 東京都豊島区立千登世橋中学校1年生116名 海洋研究講話

8月25日（木） 山形県南陽市立赤湯中学校2年生106名 船長、造船等7講話

8月25日（木） 山形県南陽市立宮内中学校2年生68名 船長、造船等7講話

8月25日（木） 山形県南陽市立沖郷中学校2年生78名 船長、造船等7講話

9月14日（水） 東京都清瀬市立清瀬中学校2年生132名 海事産業の仕事等講話

10月21日（金） 名古屋市立大高小学校5年生103名 船長、港運等講話

10月24日（月） 清瀬市立清瀬中学校2年生132名 船長講話

10月26日（水） 苫小牧市立開成中学校2年生38名 港運、海保等4講話

11月4日（金） 清瀬市立清瀬中学校特別支援51名 船長、海洋大生講話

- 11月18日（金）川崎市立南生田中学校1年生～3年生30名 海事産業講話
11月24日（木）横浜市立港南台第一中学校2年生60名 クルーズ船パーサー講話
11月30日（水）横浜市立つつじが丘小学校5年生93名 海事産業、船長講話
令和5年1月30日（月）紋別市立渚滑中学校・佐伯市立本匠中学校21名 造船等講話
2月 4日（土）荒川区立原中学校1年生82名 船長講話
3月 4日（土）府中市立府中第三中学校1年生60名 船長講話

また、志木市内8ヶ所の放課後子ども教室を訪問し、海と船の役割やそれに関わる仕事について学習する海洋教室を実施し、329名の児童の参加があった。

イ. 教育関係者への働きかけ

静岡県浜松市中学校社会科研究部の教員26名を対象に、8月2日（火）に御前崎港において海事産業の現場見学会を日本船主協会と共に実施した。

全国小学校社会科研究協議会研究大会 北海道大会（10月27日（木））・熊本大会（令和5年2月2日（木））へブース出展し、全国の小学校の先生方へ海事産業と当協会作成教材のPRを行った。

ウ. YouTuberによる海事教育動画の展開

海事産業に関わる授業支援を目的に、教育系YouTuber葉一氏を起用しインターネット動画による公開授業を3本制作し、当協会ホームページにおいて各動画等を公開した特設ページを設置した。

《授業動画》
・日本海運の挑戦（船舶の環境対策について）

- ・とある男が船員と話をしてみた（船員との対談）
- ・とある男が商船高専を訪問してみた

《公開先》
・葉一 YouTubeチャンネル「とある男が授業をしてみた」

<https://www.youtube.com/channel/UCzDd3Byvt91oyf3ggRlTb3A>

- ・日本海事広報協会特設ホームページ

<https://www.kaijipr.or.jp/educational/youyuber/>

エ. 社会科向けデジタル教材の制作

学校のICT環境整備が進む背景をうけ、小学校5年社会科の工業生産や貿易等の授業を補完する動画等を活用したデジタル教材の企画、制作を実施。様々な輸送手段についてその特徴を紹介する動画や自動車工業を支える運輸の紹介ページに追加するとともに、小麦の輸送に関するページを関連企業・団体に協力を得て制作した。

オ. 「海洋教育普及事業検討委員会」の設置

教育現場における海洋教育の浸透を目的に、以下の教育の専門家をメンバーとする「海洋教育普及事業検討委員会」を設置。8月8日（月）に第1回目、令和5年2月14日（火）に第2回目の会議を実施し、海洋教育普及施策について意見交換を行った。

検討委員会メンバー

- 全国中学校社会科教育研究会 会長 高山知機
全国小学校社会科研究協議会 会長 和田幹夫
帝京平成大学 人文社会学部 児童学科 教授 吉藤玲子
埼玉大学 教育学部 特任教授 安原輝彦

【以上、日本海事センター補助事業】

③ 小学校における副教材等による海事教育の推進

主要な海事都市において、海事産業の役割の大切さを盛り込んだ小学校の社会等の児童用テキスト・ワークブック・指導書（以下、「副教材等」という。）を現場教員の参画を得て制作し、使用してもらう事業。

4月15日（金）に中央企画委員会を実施し、令和4年度の本事業を決定した。9月27日（火）に第2回を開催し、本事業の進捗状況についての報告を行った。

ア. 今治市

令和3年度に編集作業をおこなった副教材等を6月に印刷し、8月下旬に同市教育委員会を通し全小学校26校に配布した。

<制作部数>：児童用テキスト2,400部、ワークブック4,600部、指導書600部

8月2日（火）に同市特、別応接室において、贈呈式が執り行われ、当協会尾澤理事長から徳永市長に副教材等が贈呈された。

9月に当協会ホームページにおいて、副教材等のPDFファイルをアップロード。

10月25日（火）日高小学校5年生を対象に今治造船にて海事施設現場見学会を実施した。11月

11日（金）副教材を活用したモデル授業を実施し、当協会ホームページにて授業案及び授業動画を公開した。

イ. 呉市、下関市、倉敷市、豊橋市、新潟市

令和4年度分の各小学校児童人数のワークブックについて各市教育委員会を通し、全小学校（吳市：35校、倉敷市：63校、下関市：41校、豊橋市52校、新潟市：107校）に配布した。

倉敷市では、8月23日（火）に教員を対象に海事施設現場見学会を実施。水島港内見学や造船に関する座学及び工場内の見学を行った。

豊橋市では、9月9日（金）同市立天伯小学校5年生を対象に、川崎汽船船長による出前授業を実施した。10月18日（火）に副教材を活用したモデル授業を実施し、当協会ホームページにて授業案を公開した。

新潟市では、12月7日（水）同市内教員を対象に海事施設現場見学会を実施した。

ウ. 全国版

全国版テキストを活用し、新たにデジタル要素（動画・メモ機能等）を追加したデジタル教材を令和5年3月に完成した。

【日本内航海運組合総連合会、日本造船工業会、日本港運協会、
日本港湾協会、日本倉庫協会、日本船主協会 分担金事業】

④ “海と船”と遊ぼう！

遊びながら楽しく海や船について学んでもらおうという「“海と船”と遊ぼう！」は、有明ガーデン及び羽田空港の2ヶ所でパネル展示とスタンプラリーを実施した。

【イベント名】 パネル展「船のいろいろ」

【展示場所】 ①有明ガーデン キッズスペース（イベントスペース使用）

（期 間） 令和5年3月11日（土）～3月12日（日）

【展示場所】 ②羽田空港第2ターミナルビル 5階スカイデッキ（壁面利用）

（期 間） 令和5年3月27日（月）～4月2日（日）

【内 容】 私たちの暮らしを支える「いろいろな船」をパネルで紹介

パネル展示に併せてスタンプラリーを実施

（参加賞：協賛団体マスコットのオリジナルシール等を進呈）

【全日本海員組合、日本内航海運組合総連合会、日本海難防止協会、
日本海洋レジャー安全・振興協会分担金事業】

(2) 広報資料の制作・配布等

① 海事広報資料の制作・配布

海事広報パンフレット「日本の海運 SHIPPING NOW」を基本情報のみの基本編（A4判、20ページ）10,000部とデータを含む本冊（A4判、68ページ）8,000部を制作、配布。当協会ウェブサイトにPDFファイルとパワーポイント用素材をアップした。

【日本海事センター補助事業】

② その他の海事知識、情報の周知・提供

ア. ウェブサイト等による情報

海、船、海事産業等に係る知識・情報を収集・整理し、ウェブサイトで提供した。

イ. 紙、写真など非電子媒体による情報提供

海事関係団体の機関紙や資料等をFAXで簡潔に紹介する「海事FAX短信」を毎月2回発信したほか、海事に関する書籍、写真等の収集、保管、貸出を行った。

ウ. 文部科学省「こども霞が関見学デーへの参加

8月4日（木）に文部科学省で開催された「こども霞が関見学デー」において、海事産業のパネル・ポスター展示や資料等の配布を行った。

【以上、自主事業】

II 収益事業

1 出版事業

公益目的事業に寄与するため、次の出版物等を制作・発行した。

(1) 海事情報紙

① 「海上の友」

船員とその家族、海事産業、海事教育機関向けの和文版海事情報紙「海上の友」を編集、発行した。

また、他団体や企業からの広告を「海上の友」に掲載し、収益増を図った。

・体裁 タブロイド判8頁（7月1日号及び1月1日号は12頁）

・発行部数 毎号平均1,300部

・発行回数 毎月1回（1日付）

令和4年4月1日号（2179号）から令和5年3月1日号（2190号）まで12回発行した。

・購読料 年間7,263円（10%消費税、郵送料込）

② 「Journal for all the Mariners」

日本商船隊に乗り組む外国人船員向けに英字版海事情報紙「Journal for all the Mariners」を毎月

- 1回、各号3,000部発行した。（年間購読料10,000円）
- ③ 全日本海員組合からの委託事業
全日本海員組合からの委託事業、外国人船員向けの英字版情報紙「JSU NEWSPAPER」を1月と3月に発行した。

（2）海事資料等

- 海事知識啓発を図るため、以下の「海の日」関連グッズ等を販売した。
- ア. 海事知識啓発を図るため、帆船缶バッジ、ハンドタオル、ポストカードを販売した。
- イ. 2023年世界の帆船カレンダーを制作、販売した。

2 不動産事業

公益目的事業に寄与するため、当協会所有の湊SYビル及びHN千歳台ビルを賃貸した。
10月に湊SYビル及びHN千歳台ビルの空調機入替、12月にHN千歳台ビルのエレベーターリニューアル工事を行った。

III 一般事務

1 理事の異動

【令和4年6月15日】

中村紳也（一般社団法人 日本船長協会 会長）	新任
大脇 崇（公益社団法人 日本港湾協会 理事長）	〃
葛西弘樹（前 一般社団法人 日本船長協会 会長）	辞任
須野原豊（前 公益社団法人 日本港湾協会 理事長）	〃

【令和5年3月30日】

奥島高弘（公益財団法人海上保安協会 理事長）	新任
秋本茂雄（前 公益財団法人海上保安協会 理事長）	辞任

2 評議員の異動

【令和4年6月15日】

遠山純司（公益社団法人 日本水難救済会 理事長）	新任
山本裕一（公益社団法人 日本海洋少年団連盟 理事長）	辞任

【令和5年3月30日】

井関俊夫（国立大学法人 東京海洋大学 学長）	新任
桑島 進（元 東京商船大学 副学長）	辞任

3 会議

(1) 理事会

第55回理事会

令和4年5月30日(月)、海運クラブにて開催。次の各議案を審議し、原案通り決議された。

第1号議案 令和3年度事業報告及び決算について

第2号議案 令和4年度第1回評議員会の開催について

第56回理事会

令和4年10月24日(月)、海運クラブにて開催。次の議案を審議し、原案通り決議された。

第1号議案 令和5年度事業計画及び収支予算について

第2号議案 令和5年度補助金及び助成金の申請について

第57回理事会

令和5年2月17日(金)、書面にて開催。次の議案を審議し、原案通り決議された。

令和4年度第2回評議員会の開催について

第58回理事会

令和5年3月28日(火)、海運クラブにて開催。次の議案を審議し、原案通り決議された。

第1号議案 令和5年度事業計画の変更及び収支予算の更正について

第2号議案 諸規程の改正について

(2) 評議員会

令和4年度第1回評議員会

令和4年6月15日(水)、海運クラブにて開催。次の各議案を審議し、原案通り決議された。

第1号議案 令和3年度事業報告及び決算について

第2号議案 役員の選任について

第3号議案 評議員の選任について

令和4年度第2回評議員会

令和5年3月30日(木)、海運クラブにて開催。次の議案を審議し、原案通り決議された。

第1号議案 役員の選任について

第2号議案 評議員の選任について

(3) 全国海事広報協会事務局長会議

令和4年12月23日(金) 海事センタービルにて開催。令和5年度事業等について説明、協議した。

令和4年度事業報告

付属明細書

「海の日」・「海の月間」関連事業

・2022夏「海の日」クイズキャンペーン実施

協会ホームページ 特設サイト（令和4年7月14日～8月31日）



・読売 KODOMO 新聞 記事掲載

（発行日：令和4年7月14日(木)）



令和4年度全国ビーチウォーク&クリーンアップ大作戦実施結果

地区	清掃海岸名	実施団体名	所在地	参加者数	回収量(t)
北海道	さるる海水浴場	一般社団法人 おこっぺ町観光協会	北海道紋別市	134	4.50
	釧路港西港区第4埠頭西側防波堤付近	釧路海の月間実行委員会	北海道釧路市	中止	
	留萌港	留萌海の月間実行委員会	北海道留萌市	8	0.12
	根室港	根室港海の日の会	北海道根室市	中止	
	函館市北埠頭、港町埠頭、港町埠頭分譲地	海の日を祝う会、函館港湾振興会	北海道函館市	173	0.14
	親船・弁天地区(あそびーち石狩)	石狩市観光協会	北海道石狩市	300	6.60
	ところ常南ビーチ海水浴場	北見市常呂総合支所	北海道北見市	40	0.24
計	5海岸			655	11.60
東北	仙台港周辺	宮城県仙台塩釜港湾事務所	宮城県仙台市	376	0.60
	塩竈港周辺	宮城県仙台塩釜港湾事務所	宮城県塩釜市	218	0.35
	酒田港 大浜海岸	酒田港クリーンアップ推進協議会	山形県酒田市	403	0.99
	浄土ヶ浜	宮古港海事振興会	岩手県宮古市	中止	
	いわき市 四倉海岸	いわき市健康歩く会	福島県いわき市	25	0.03
	酒田市飛島 荒崎海岸	飛島クリーンアップ作戦 実行委員会	山口県酒田市	中止	
	気仙沼大島 小田の浜ビーチ	気仙沼市観光協会 大島支部	宮城県気仙沼市	32	0.10
	気仙沼市唐桑町 九九鳴き浜	唐桑海友会	宮城県気仙沼市	40	0.10
	秋田港内	秋田港をキレイにする会	秋田県秋田市	437	2.00
	七ヶ浜町 菖蒲田海水浴場	七ヶ浜町観光協会	宮城県宮城郡七ヶ浜町	400	0.12
計	8海岸			1,931	4.29
北陸 信越	村上市 瀬波海岸	村上市大字瀬波区会	新潟県村上市	400	0.60
	村上市 岩船海水浴場	村上市岩船地区区長会	新潟県村上市	500	3.00
	新潟市 山ノ下船江町浜海岸	新潟市「下山・桃山・山ノ下」地区 青少年	新潟県新潟市	150	2.00
	新潟市 北区松浜海岸	松浜自治振興会	新潟県新潟市	中止	
計	3海岸			1,050	5.60
関東	茨城県那珂湊漁港	茨城県立海洋高等学校	茨城県ひたちなか市	中止	
計	0海岸			0	0.00
中部	名古屋港ガーデン埠頭	「海の日」ビーチウォーク&クリーンアップ 大作戦実行委員会	愛知県名古屋市	中止	0.00
	高豊海岸	高豊校区豊橋表浜海岸清掃協力会	愛知県豊橋市	13	0.50
	田子の浦海岸及び松林周辺	田子浦地区まちづくり協議会	静岡県富士市	1,055	3.08
	伊東港	伊東港連絡協議会	静岡県伊東市	中止	0.00
	福井県気比の松原海岸	気比の松原を愛する会	福井県敦賀市	中止	
計	2海岸			1,068	3.58

(資料2)

令和4年度全国ビーチウォーク＆クリーンアップ大作戦実施結果

地区	清掃海岸名	実施団体名	所在地	参加者数	回収量(t)
近畿	京都府京丹後市久美浜町 小天橋海水浴場	小天橋観光協会	京都府京丹後市	6	0.03
	舞鶴市神崎浜(未定)	まいづるクリーンキャンペーン実行委員会	京都府舞鶴市	中止	
計	1海岸		兵庫県美方郡香美町	6	0.03
神戸	香住海岸一帯	香美町観光協会	兵庫県豊岡市	300	0.90
	竹野浜海岸、切浜海岸、浜須井海岸等	竹野浜海岸を美しくする会	兵庫県豊岡市	30	0.08
	洲本大浜海岸、炉口海岸、海岸道路	念法寺	兵庫県洲本市	40	0.08
	メリケンパーク 護岸	メリケンパーク協議会	兵庫県神戸市	90	0.09
計	4海岸			460	1.15
中国	渋川海岸	玉野市(商工観光課)	岡山県玉野市	560	0.27
	国府海岸	国府海岸を美しくする会	島根県浜田市	350	1.20
	島取県6カ所・島根県12カ所(18カ所)の海岸、景勝地	小さな親切運動山陰本部	島根県松江市	1,800	不明
	厳島神社周辺海岸他	廿日市市宮島公衆衛生推進協議会	広島県廿日市市	中止	
計	3海岸			2,710	1.47
四国	西ノ浜、砂美の浜、内妻海岸	牟岐町立牟岐中学校	徳島県海部郡牟岐町	71	0.02
計	1海岸			71	0.02
九州	佐賀県唐津市 神集島 白浜 海水浴場	唐津市立湊小学校、佐賀県旅客船協会、公	佐賀県唐津市	20	0.30
	鹿児島県南さつま市新川海岸(吹上浜)	南さつま市、南さつま市教育委員会、南さつま市子ども会育成連絡協議会	鹿児島県南さつま市	中止	
	門司港各埠頭(西海岸、門司港駅周辺、門司港レトロ地区等)	北九州市港湾空港局、北九州港振興協会(北九州海の日協賛会)、九州地方整備局	福岡県北九州市	中止	
計	1海岸			20	0.30
総計	28海岸		21道府県	7,971	28.04

2022年「海の日」ポスター・コンクール入賞作品展実施状況

地方海事広報協会	開催期間	開催場所	観覧者数
北海道海事情広報協会	7月 1日～7月10日	長崎屋小樽店1階ロビー	約1,500名
	7月19日～7月29日	ウイングベイ小樽2階5番街	約6,000名
	7月25日	小樽地方合同庁舎2階	約60名
	計		約7,560名
東北海事広報協会	7月11日～7月31日	マリンゲート塩釜 1階	約8,200名
北陸信越海事広報協会	7月 1日～7月31日	新潟市生涯学習センター	14,854名
	7月12日～7月29日	佐渡汽船ターミナル3階ギャラリー	約56,000名
	計		約70,854名
関東海事広報協会	7月20日～7月26日	横浜第二合同庁舎1階ロビー	約2,000名
中部海事広報協会	7月19日～7月26日	名古屋港ポートビル	1,716名
	7月20日～7月29日	名古屋合同庁舎第一号館1階	217名
	7月19日～7月26日	中部運輸局岐阜運輸支局	29名
	7月19日～7月26日	中部運輸局三重運輸支局	14名
	7月19日～7月26日	中部運輸局静岡運輸支局	29名
	計		2,005名
近畿海事広報協会	7月30日～7月31日	和歌山県太地町立「くじらの博物館」	2,050名
神戸海事広報協会	7月 7日～7月31日	神戸第二地方合同庁舎1階	16,800名
	7月13日～8月31日	中突堤旅客ターミナル かもめりあ	約40,000名
	7月15日	「神戸港ポート天国」本部ブース	約2,000名
	計		約58,800名
中国海事広報協会	7月 1日～8月31日	広島港宇品旅客東ターミナル1階	約3,000名
四国海事広報協会	7月 9日～8月 1日	サンポート高松シンボルタワー かがわアーバ	約2,800名
	8月 7日～9月20日	琴平海洋博物館2階ギャラリー	約1,800名
	計		約4,600名
九州海事広報協会	7月19日～7月31日	旧門司税関1階展示室（第1期）	4,342名
	8月 1日～8月12日	旧門司税関2階展示室（第2期）	3,004名
	8月 2日～8月 10日	福岡合同庁舎新館1階ロビー	250名
	計		約7,596名
沖縄海事広報協会	8月 1日～8月 5日	内閣府沖縄総合事務局	約500名
日本海事広報協会	7月19日～8月 1日	国土交通省1階ロビー	約150名
合 計			約167,300名

令和4年度「船との出会い総合事業」地方協会実施結果

実施協会	月 日	実施内容	実施場所	参加者
北海道	7月6日	釧路港内見学会	釧路市	小学生・引率 26名
	7月8日	造船所見学会及び室蘭港体験航海	室蘭市	小学生・引率 43名
	7月12日	海事講座及び体験航海	稚内市	小学生・引率 14名
	8月4日	海事講座及び体験航海	江差町	小学生・引率 15名
	8月29日	港内遊覧及び小樽港内クルーズ	小樽市	小学生・引率 40名
	9月14日	海事講座	小樽市	小学生・引率 48名
	10月15日	港内遊覧	釧路市	小学生・引率 26名
	10月18日	港内遊覧及び海事講座	紋別市	小学生・引率 55名
	10月28日	船内見学及び海事講座	函館市	小学生・引率 29名
	10月28日	出前授業(海運の仕事紹介)	壮瞥町	中学生 11名
	11月2日	船内見学及び海事講座	稚内市	中学生・教諭 13名
	11月7日	船内見学及び海事講座	江差町	中学生・教諭 34名
	11月24日	船内見学及び海事講座	江差町	中学生・教諭 11名
	実施回数	13回		計 365名
東北	7月31日	遊覧船体験乗船	宮古市	小学生・保護者 72名
	8月29日	離島航路体験乗船・離島観察会	瑞穂市	小学生・教諭 90名
	9月7日	離島航路体験乗船・離島観察会	瑞穂市	小学生・引率 41名
	10月6日	体験乗船・造船所見学	いわき市	小学生・教諭 83名
	11月5日	海の仕事体験会・歴史館見学	青森市	小学生・保護者 25名
	11月15日	海事物流施設見学会	仙台市	小学生・引率 36名
	実施回数	6回		計 347名
北陸信越	6月7日	出前授業(海運の仕事紹介)	新発田市	小学生 12名
	6月15日	コンテナターミナル見学会	新潟市	中学生・教諭 34名
	6月16日	造船所見学会	新潟市	高校生・教諭 23名
	6月30日	造船所見学会	新潟市	高校生・教諭 23名
	7月5日	出前授業(海運の仕事紹介)	新潟市	中学生 21名
	7月30日	乗船体験会	新潟市	小学生・保護者 83名
	9月22日	佐渡汽船ターミナル施設見学会	新潟市	小学生・教諭 39名
	9月27日	出前授業(海運の仕事紹介)	新潟市	小学生 106名
	10月4日	コンテナターミナル・LNG基地見学会	新潟市	小学生・教諭 56名
	10月14日	コンテナターミナル・LNG基地見学会	新潟市	小学生・教諭 77名
	10月19日	コンテナターミナル・LNG基地見学会	新潟市	小学生・教諭 61名
	10月24日	出前授業(海運の仕事紹介)	新潟市	小学生 193名
	10月28日	コンテナターミナル・LNG基地見学会	新潟市	小学生・教諭 85名
	11月8日	コンテナターミナル・LNG基地見学会	新潟市	小学生・教諭 69名
	11月9日	出前授業(海運の仕事紹介)	新潟市	小学生 46名
	11月11日	コンテナターミナル・LNG基地見学会	新潟市	小学生・教諭 46名
	11月16日	出前授業(海運の仕事紹介)	新潟市	小学生 90名
	11月22日	出前授業(海運の仕事紹介)	新潟市	小学生 71名
	12月7日	コンテナターミナル・LNG基地見学会	新潟市	教諭 33名
	12月12日	出前授業(海運の仕事紹介)	新潟市	小学生 20名
	1月24日	出前授業(造船の仕事紹介)	新発田市	高学校生 39名
	実施回数	21回		計 1,227名
関東	5月25日	乗船体験会	横浜市	小学生 42名
	7月1日	乗船体験会	横浜市	小学生 97名
	7月11日	乗船体験会	千葉市	小学生 62名
	9月22日	乗船体験会及び海事施設見学会	横浜市	小学生 87名
	10月19日	乗船体験会	横浜市	小学生 120名
	11月1日	乗船体験会	横浜市	小学生 59名
	11月4日	乗船体験会	横浜市	小学生 54名
	11月24日	乗船体験会	横浜市	小学生 46名
	実施回数	8回		計 567名
中部	7月7日	乗船体験・海事施設見学会	静岡市	小学生・教諭 48名
	7月11日	オンライン出前授業	名古屋市	小学生 83名
	7月14日	乗船体験・海事施設見学会	静岡市	小学生・教諭 21名
	7月30日	海事施設見学会	坂井市	小学生・保護者 40名
	8月22日	乗船体験会	名古屋市	小中学生・保護者 250名
	10月21日	出前授業	名古屋市	小学生・教諭 119名
	実施回数	6回		計 561名

実施協会	月 日	実施内容	実施場所	参加者	
				学年	人数
近畿	7月18日	キッズボート乗船体験会	泉佐野市	小学生・保護者	37名
	9月7日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪市	小学生・教諭	48名
	10月5日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪市	小学生・教諭	39名
	10月6日	乗船体験会及び海事施設見学会	那智勝浦町他	小学生・教諭	40名
	10月7日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪市	小学生・教諭	66名
	10月13日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪市	小学生・教諭	58名
	10月14日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪市	小学生・教諭	62名
	10月21日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪市	小学生・教諭	122名
	10月28日	乗船体験会及び海事施設見学会	那智勝浦町他	小学生・教諭	11名
	11月6日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪市	交通遺児者等	16名
	11月11日	乗船体験会及び海事施設見学会	那智勝浦町他	小学生・教諭	19名
	11月12日	海技丸体験航海	芦屋市	高校生・教諭	18名
	11月19日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪市	交通遺児者等	20名
	11月24日	乗船体験会及び海事施設見学会	那智勝浦町他	小学生・教諭	20名
	12月1日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪市	中学生・教諭	72名
	実施回数	15回		計	648名
神戸	5月16日	出前授業(神戸市立好徳小学校)	神戸市	小学生	9名
	9月12日	乗船体験(明石市立大久保南小学校)	神戸市	小学生・教諭	140名
	9月22日	乗船体験・海事施設見学会(神戸市立灘の浜小学校)	神戸市	小学生・教諭	81名
	10月1日	出前授業(神戸港バッケヤードツアーライフ)	神戸市	小中学生親子	61名
	10月14日	乗船体験・海事施設見学会(播磨町立播磨小学校)	神戸市	小学生・教諭	76名
	10月19日	出前授業(神戸市立兵庫中学校)	神戸市	中学生	152名
	10月19日	乗船体験(尼崎市立立花南小学校)	神戸市	小学生・教諭	78名
	11月4日	乗船体験(神戸市立鷹取中学校)	神戸市	中学生・教諭	191名
	11月10日	出前授業(神戸市立東落合中学校)	神戸市	中学生	8名
	11月16日	出前授業・乗船体験・海事施設見学会(神戸市立灘小学校)	神戸市	小学生・教諭	61名
	12月2日	乗船体験・海事施設見学会(尼崎市立明城小学校)	神戸市	小学生・教諭	75名
	1月14日	出前授業(神戸市立南五葉小学校)	神戸市	小学校	37名
	1月17日	出前授業(神戸市立宮本小学校)	神戸市	小学校	45名
	1月24日	出前授業(神戸市立西灘小学校)	神戸市	小学校	64名
	2月1日	出前授業(神戸市立童が台小学校)	神戸市	小学校	21名
	2月7日	出前授業(神戸市立谷上小学校)	神戸市	小学校	40名
	2月9日	出前授業(神戸市立会下山小学校)	神戸市	小学校	90名
	2月15日	出前授業(神戸市立鶴甲小学校)	神戸市	小学校	58名
	2月22日	出前授業・海事施設見学会(私立滝川中学校)	神戸市	中学生・教諭	145名
	2月22日	出前授業(神戸市立長田小学校)	神戸市	中学生	41名
	3月8日	出前授業(神戸市立桃山台中学校)	神戸市	中学生	153名
	実施回数	21回		計	1,626名
中國	9月22日	海事施設見学会	広島市	小学生・教諭	8名
	10月18日	海事施設見学会	広島市	小学生・教諭	37名
	11月22日	海事施設見学会	広島市・呉市	小学生・教諭	42名
	12月6日	海事施設見学会	境港市	小学生・教諭	39名
	12月8日	海事施設見学会	日吉津村	小学生・教諭	44名
四国	実施回数	5回		計	170名
	5月2日	博物館見学	琴平町	小学生	19名
	9月28日	博物館見学	琴平町	小学生	89名
	10月21日	博物館見学	琴平町	小学生	26名
九州	実施回数	3回		計	134名
	6月3日	海事施設見学会	鹿児島市	小学生・教諭	92名
	7月15日	乗船体験・出前授業	唐津市	小学生・教諭	18名
	8月24日	海事施設見学会	長崎市	教諭	8名
	10月14日	海事施設見学会	武雄市・鹿児島市	高校生・教諭	28名
	11月2日	海事施設見学会	佐世保市	中学生・教諭	83名
	11月8日	海事施設見学会	佐世保市	小学生・教諭	112名
	11月10日	海の教室(海事施設見学会)	北九州市	中学生・教諭	61名
	11月11日	海の教室(海事施設見学会)	津久見市	中学生・教諭	68名
	11月30日	海事施設見学会	北九州市・下関市	小学生・教諭	41名
沖縄	12月8日	海事施設見学会	下関市	小学生・教諭	24名
	実施回数	10回		計	535名
	5月6日	海洋環境学習施設見学会	那覇市	小学生	65名
	8月10日	乗船体験	那覇市	小学生	42名
	8月17日	乗船体験	那覇市	小学生	35名
	8月21日	乗船体験	那覇市	小学生	55名
	11月29日	海洋環境学習施設見学会	那覇市	小学生	50名
	12月6日	海洋環境学習施設見学会	那覇市	小学生	106名
	1月30日	海事教室	那覇市	小学生	50名
	実施回数	7回		計	403名

実施回数

115回

参加者数

6,583名

2022年度「ジュニア・シッピング・ジャーナリスト賞」入賞者一覧

1. 応募者数

1,266作品（小学生部門921作品、中学生・高校生部門335作品、チャレンジ部門10作品）

2. 審査委員（敬称略）

アグネス・チャン（歌手・教育学博士）

小林 豊茂（全国新聞教育研究協議会 理事長）

黒川 久幸（東京海洋大学 教授）

尾澤 克之（（公財）日本海事広報協会 理事長）

3. 入賞作品

小学生部門				
国土交通大臣賞				
作品名	学校名		氏名	学年
船はくらしをはこんでる	新潟県	新潟市立紫竹山小学校	菅 優月	5
(公財)日本海事広報協会会长賞				
作品名	学校名		氏名	学年
南極観測船「宗谷」	東京都	豊島区立豊成小学校	長崎 大晴	5
優秀賞				
作品名	学校名		氏名	学年
あわしま☆きらら新聞	新潟県	粟島浦村立粟島浦小学校	菊池 芙優	6
海を守る！！消防艇新聞	兵庫県	宝塚市立宝塚小学校	川端 泰寛	5
わくわくドキドキ！大好きな港	新潟県	新潟市立青山小学校	竹田 日向夏	5
佳作				
作品名	学校名		氏名	学年
CカーボンNニュートラルPポートで環境立国日本へ	東京都	中央区立明正小学校	瀬之上 綾音	2
南きょくかんそく船新聞	東京都	大田区立矢口西小学校	岩永 紗季	3
輸出も輸入もここにおまかせ！！	新潟県	新潟市立濁川小学校	坂井 志帆	5
地球クリーン大作戦！日本海LNG基地	新潟県	新潟市立万代長嶺小学校	齋藤 咲寧	5
コンテナは未来を作る！	新潟県	新潟市立万代長嶺小学校	中澤 心	5
船、港のはかせ新聞	愛知県	豊橋市立天伯小学校	赤沢 留愛菜	5
東港・LNGひみつ新聞	新潟県	新潟市立万代長嶺小学校	八島 理彩子	5
港の景色	神奈川県	学校法人相模女子大学小学部	井上 菜々子	4
そうだったんだ!!新潟の港新聞	新潟県	新潟市立紫竹山小学校	色川 羽海	5
世界の船の大発明！	新潟県	新潟市立青山小学校	石川 あやめ	5
コンテナターミナルを知ってみよう	新潟県	新潟市立青山小学校	佐藤 千絵	5
港の大研究新聞	大阪府	東大阪市立若江小学校	石井 海羽	5
色々な船新聞	広島県	安芸高田市立愛郷小学校	横山 千桜	5
すごいぞ!!船のすごさ丸分かり新聞	新潟県	新潟市立紫竹山小学校	間 奏介	5
生活を支える大切な港	新潟県	新潟市立青山小学校	島田 咲希	5
船内のしくみと船員の仕事	愛知県	名古屋市立大高小学校	平野 亜依莉	5
船の見学に行って知ったこと	愛知県	豊橋市立天伯小学校	平尾 紘笙	5

今治造船新聞	愛媛県	今治市立日高小学校	茅壁 英里	5
見てきたよ！造船所新聞	愛媛県	今治市立日高小学校	井出 結愛	5
今治のすごい造船所新聞	愛媛県	今治市立日高小学校	鳥生 夏寿	5
SDGsを船で達成しよう	香川県	丸亀市立城北小学校	小林 直心	6
船新聞	兵庫県	神戸市立義務教育学校港島学園小学部	渋谷 航一	6
Let's Lern 船のこと新聞	愛知県	豊橋市立天伯小学校	小久保 快音	5
船のひみつ新聞	愛知県	豊橋市立天伯小学校	平出 恵菜	5
港や船のひみつ新聞	岐阜県	中津川市立落合小学校	櫻井 ことね	5
横浜港に注目！	神奈川県	学校法人神奈川学園精華小学校	高橋 瑞帆	3

中学生・高校生部門

国土交通大臣賞

作品名	学校名		氏名	学年
浮き浮き新聞	福岡県	福岡教育大学附属小倉中学校	倉富 凜奈	2

(公財)日本海事広報協会会長賞

作品名	学校名		氏名	学年
横浜港新聞	神奈川県	横浜市立あかね台中学校	二川 紗菜	2

優秀賞

作品名	学校名		氏名	学年
南希タイムズ	神奈川県	横浜市立南希望が丘中学校	若松 彩花	3
			小俣 純也	3
			若松 和樹	1
			中泉 文花	3
海運新聞	パナマ	パナマ日本人学校中学部	今城 鳩介	1
きれいで安全な海を未来へ！	京都府	京都市立旭丘中学校	中村 奏渚	2

佳作

作品名	学校名		氏名	学年
美波新聞	山形県	南陽市立赤湯中学校	遠藤 美波	2
お台場新聞	東京都	豊島区立千登世橋中学校	藤原 佳音	2
海拓新聞	熊本県	熊本県立第二高等学校	徳永 大旗	2
東京港と防災	東京都	豊島区立千登世橋中学校	岩方 芙実果	2
津波防災新聞	北海道	北海道函館水産高等学校	佐藤 瀬里菜	3
			荒木 唯	3
			北山 純也	2
海の物知り新聞	山形県	南陽市立赤湯中学校	小川 明日香	2
たっけ新聞～海へご案内～	山形県	南陽市立赤湯中学校	竹田 恋菜	2
君は船について知っているか～知られざる船事情	香川県	大手前丸亀中学校	坂田 悠理子	2
驚き?!船新聞	山形県	南陽市立赤湯中学校	山口 悠菜	2
よし新聞	徳島県	徳島県立徳島科学技術高等学校	由水 忠徳	3
RORO新聞	徳島県	徳島県立徳島科学技術高等学校	岸本 のぞみ	3

海の仕事新聞	香川県	大手前丸亀中学校	合田 優香理	2
知らなかつた船のこと	イギリス	ロンドン日本人学校 中学部	年永 春花	1

チャレンジ部門

エクセレンス賞

作品名	学校名		氏名	学年
ふねのあんぜんしん聞	東京都	日野市立日野第六小学校	市岡 芽維	2
大堀の渡し新聞	茨城県	取手市立戸頭小学校	白井 翔	2
船のり新聞	兵庫県	神戸市立西須磨小学校	上原 環那	2
ホーバークラフト ふたたび！	大分県	別府市立大平山小学校	東里 光	2
			東里 歩	1
音戸とせん新聞	広島県	吳市立阿賀小学校	高尾 悠翔	2
いろいろはこぶよ コンテナせん！！	福岡県	北九州市立則松小学校	仲川 璃子	1
Banana新聞	東京都	西東京市立保谷第一小学校	森 優利亞	5
海しんぶん	東京都	江戸川区立第二葛西小学校	塚原 理早	4

小学生部門/中学生・高校生部門/チャレンジ部門共通

(一社)日本船主協会会長賞

作品名	学校名		氏名	学年
こんなにあるの!?たくさんの船	愛知県	名古屋市立大高小学校	吉野 愛梨	5

(一社)日本造船工業会会长賞

作品名	学校名		氏名	学年
希望の船新聞	兵庫県	神戸市立葺合高等学校	黒崎 愛瑠茉	2

(公社)日本港湾協会会長賞

作品名	学校名		氏名	学年
碧の足跡	神奈川県	横浜市立老松中学校	浅沼 貴子	3

日本内航海運組合総連合会会長賞

作品名	学校名		氏名	学年
船の未来新聞	愛知県	豊橋市立天伯小学校	原田 純那	5

(一社)日本旅客船協会会長賞

作品名	学校名		氏名	学年
ふねのたび	東京都	町田市立町田第四小学校	宮田 晴風	1

審査委員特別賞(小林豊茂先生)

作品名	学校名		氏名	学年
熊本丸新聞	熊本県	熊本県立天草拓心高等学校	興梠 樹里	2

審査委員特別賞(黒川久幸先生)

作品名	学校名		氏名	学年
海を渡る宝新聞	新潟県	新潟市立青山小学校	西山 百花	5

審査委員特別賞(アグネス・チャン先生)

作品名	学校名		氏名	学年
丈栄丸新聞	東京都	町田市立町田第四小学校	宮田 心夏	3

審査委員特別賞(尾澤克之理事長)

作品名	学校名		氏名	学年
世界の架け橋 コンテナ船	新潟県	新潟市立濁川小学校	松田 望花	5

団体賞
優秀賞
名古屋市立 大高小学校
新潟市立 潟川小学校
今治市立 日高小学校
ロンドン日本人学校
南陽市立赤湯中学校
宇和島市立城北中学校